

# 多賀城市における 学校施設の諸課題への 対応について

令和8年1月23日

多賀城市 教育委員会事務局 教育総務課

## 学校施設の諸課題

多賀城市の学校施設は、校舎・体育館ともに耐震改修は終わっているものの、天真小学校と多賀城東小学校は昭和40年代に建てられており、そのほかの校舎も昭和50年から60年代に建てられたものが多い。

児童生徒数はここ30年で約1,500人減少しているものの、35人学級の導入や特別支援学級の増加により、令和7年の学級数202学級は、過去30年で最大の学級数となっている。 平成8年：6,577人 199学級 → 令和7年：4,966人 202学級

学級増に伴っては、エアコン設置やインターネットのアクセスポイントの工事、特別支援向けの備品設置も必須となっている。

猛暑により、エアコンが設置されていない特別教室では子供たちが室温が高い中で授業を受けている。高温でプール授業が中止になったり、夏休みのプール開放が困難となっている。

校地内の樹木が老朽化・巨大化しており、強風で倒れる被害が発生している。運動系の部活の種類減少により、校庭の使用頻度が減少し、グラウンドの整備や校庭の除草が行き届きにくい。

学校給食センターが平成14年7月の開設以来23年を経過して老朽化が著しい。調理器具のほとんどは電子制御されているが、交換部品がなく抜本的な入れ替えなどが必要な器具が多い。除去食の調理スペースが無く、アレルギー対応が困難。

- 特別教室、体育館へのエアコン整備
- 学校プールの維持管理
- 校舎の長寿命化

## 学校施設の諸課題

### 特別教室・体育館へのエアコン整備

#### 現状

- 特別教室
  - ① 小学校計：33教室中、設置済み16、未設置17 設置率48%
  - ② 中学校計：41教室中、設置済み9、未設置32 設置率22%
  - ③ 全体：74教室中、設置済み25、未設置49 設置率34%

	未設置 室数	床面積																
	49	5,461.12																
多小	5	合計	生活科室	外国語	理科室	図面工作	家庭科室											
		437.6	64.6	64.6	102	104.4	102											
東小	2	合計	家庭科室	理科室														
		230.3	98.7	131.6														
天真小	2	合計	家庭科室	理科室														
		216.00	91.8	124.2														
城南小	3	合計	生活科室	図工室	理科室													
		321.75	66.4	132.8	122.55													
八幡小	5	合計	生活科室	視聴覚室	理科室	図工室	家庭科室											
		668.97	64.5	119.97	161.5	161.5	161.5											
多中	11	合計	音楽室③	技術室②	理科室①	理科室②	音楽室②	美術室②	被服室	視聴覚室	美術室①	技術室①	調理室					
		1179.6	67.5	67.5	129	105.75	123.6		90	101.25	90	135	135					
二中	7	合計	技術室①	技術室②	調理室	理科室①	理科室②	被服室	美術室									
		833.92	102	102	96	132.41	130.68		138.42									
東豊中	7	合計	理科室	技術室①	技術室②	美術室	家庭科室①	家庭科室②	視聴覚室									
		849.46	120.75	120.75	118.13	120.75	120.75	117.68	130.64									
高崎中	7	合計	理科室①	理科室②	理科室③	美術室	技術室	家庭科室①	家庭科室②									
		723.52	103.36	103.36	103.36	103.36	103.36	103.36	103.36									

- 体育館 整備済み箇所無し

# 学校施設の諸課題

## 特別教室・体育館へのエアコン整備

### 対応の方向性

- ・特別教室へのエアコン設置については、令和12年度まで延長された緊急防災・減災対策債を活用し、できる限り早期に、かつ、計画的に整備を進める。
- ・体育館については、大規模改修時に断熱工事と合わせて実施するが、スポットクーラーなどの機材の能力向上動向や、国の事業適用状況を注視しながら、研究を進める。

# 学校施設の諸課題

## 学校プールの維持管理

### 現状

市内小中学校のプールは、いずれも築30年以上を経過している。

すべて屋外であるため、水泳事業の実施が天候に大きく左右される。

種別	施設名	建築年度	経過年数
小学校	多賀城小学校	1970年(S45)	55
	多賀城東小学校	1972年(S47)	53
	山王小学校	1977年(S52)	48
	天真小学校	1979年(S54)	46
	城南小学校	1978年(S53)	47
	多賀城八幡小学校	1983年(S58)	42
中学校	多賀城中学校	1974年(S49)	51
	第二中学校	1976年(S51)	49
	東豊中学校	1987年(S62)	38
	高崎中学校	1995年(H7)	30

# 学校施設の諸課題

## 学校プールの維持管理

### 対応の方向性

- 学校プールについては、段階的に廃止することとし、授業の実施は、中央地区に建設予定のスポーツウェルネス施設を含め、外部の施設を活用して、民間事業者等への委託検討を進める。

# 学校施設の諸課題

## 校舎の長寿命化

### 現状

- 多賀城東小学校の長寿命化を行うこととして実施設計を終えていたが、山王小学校児童数の増加に対応するため、令和8年度まで、山王小学校長寿命化改良工事を実施中である。
- 多賀城市学校施設等長寿命化計画改定作業を実施中であり、この中で今後2～30年先の児童生徒数予測を立てて対応することとしているが、学校の統廃合を検討しなければならない規模までは減少しないのではないかと予測される。
- 多賀城東小と東豊中学校の義務教育学校化・小中一貫校化を検討すべきではとの提案が議会でなされている。
- 放課後児童クラブや、児童館・公民館・集会所機能など、学校の資源を地域で活用したり、地域住民が学びの場を得たりする効果が求められている。

# 学校施設の諸課題

## 校舎の長寿命化

### 対応の方向性

- 令和9年からを計画期間とする公共施設等総合管理計画の更新の中で、諸課題を検討していく。
- 多賀城東小と東豊中学校の義務教育学校化・小中一貫校化について、地域住民や教職員を交えて、研究を進める。
- 多賀城市学校施設等長寿命化計画に基づいて、次期長寿命化改良工事実施校を決定する。